

おすすめ
コース
No.13

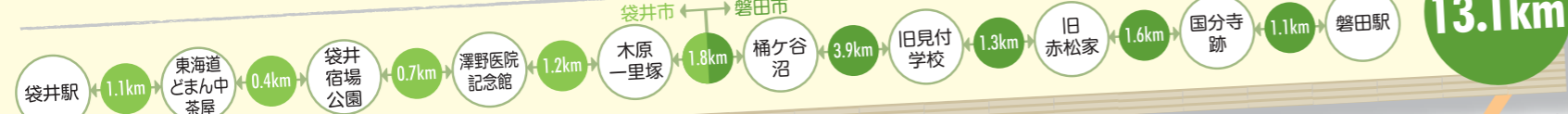
見所
満載

袋井遊友ウォーキングマップ

Fukuroi Walking Map

旧東海道袋井宿・見付宿コース

旧東海道沿いの道には、かつての宿場町のたたずまいが今もささやかに残ります。宿場の様子や東海道の道すじ、道しるべ、旅人の憩いなど、人から人へと繋がれてきた歴史が袋井の町を形づくり、旧見付の宿までの街道は自然に恵まれ、桶ヶ谷沼では沼地特有の生態系を見ることが出来ます。旧見付の宿には歴史を感じさせる建造物などが多く残り、町の発展の経緯をうかがうことができます。袋井駅-磐田駅間はJR東海道線で、約7分の距離ですが、この街道は多くのドラマを生んできたはずで、



木原一里塚(きはらなわて) 古戦場 許祢(こね)神社

元龜3年(1572)久野城を攻めた武田信玄は、木原に陣をはり、浜松城を守る徳川家康の偵察隊と衝突しました。これが木原一里塚の戦いです。6年後の天正6年8月、高天神城(大東町)から徳川軍の様子を探りにきた武田の家臣・世田源吾はこの地で村人たちに討ちとられてしまいました。市指定民俗文化財・木原大念仏は、彼を供養するために始まったと伝えられています。現在も徳川家康が腰掛けたとされる石が残っていて、自由に座ることができます。

袋井宿場公園

元和2年(1616)に開かれた袋井宿は、江戸日本橋から数えても、京都三条大橋から数えても27番目である東海道五十三次のどまん中に位置していました。それを活かした街づくりの一つとして、平成4年度に整備されました。



横断注意
横断歩道を渡り、消防署からさらに北に渡っておそば屋さんのある北側の歩道を歩きます。

澤野医院記念館

旧澤野医院は江戸時代末期から開院し、昭和9年には病棟が建築され地域の医療を担ってきました。当時から医療建築としては他にあまり例がなく、貴重な存在です。街道でひときわ目立つ建物です。
開館日/土・日曜日

木原一里塚

江戸から数えて61里目の一里塚です。一里塚とは、一里(4km)ごとに街道の両側の土を盛り上げ、目印にした塚のことです。根が広がって塚が崩れにくいように榎(えのき)が植えられました。当時は現在の場所から60m東にありました。

桶ヶ谷沼

70種類が生息する日本一のトンボの宝庫です。冬のカモなど、野鳥もたくさん見ることが出来ます。沼とその周辺は県の自然環境保全地域に指定されています。周囲を一周すると深い自然の息吹が感じられ、散策の人たちで賑わいます。

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

とんぼ茶屋

明治の道 みどりのトンネル



横断注意
交通量が多い

旧東海道松並木

分断されていますが、ところどころに松並木が残り、旧東海道の面影を感じることができます。

阿多古山一里塚(市指定史跡)

見付宿の東端に築かれた一里塚。愛宕神社の裏と街道をはさんで北側にあります。

遠江国分寺跡(国指定特別史跡)

奈良時代、聖武天皇の命により、全国に建てられた国分寺のひとつです。昭和26年の発掘調査で、金堂や講堂・塔(七重の塔)・回廊・中門・南大門など主な伽藍の配置が判明し、翌年国の特別史跡に指定されました。北方には、国分尼寺がありました。

磐田駅 善導寺大クス(県指定天然記念物)

かつて、この地に寺院があり、その寺域の南に位置していました。樹齢は推定で700年、樹高28m、目通り周囲8.2mで、枝下の面積850㎡におよぶ大木であり、見る人を圧倒します。通りすがりの人たちがや小鳥たちに木陰や安らぎを与えています。

旧赤松家門・塀・土蔵(県・市指定建造物)

幕末に咸臨丸で渡米した赤松則良(男爵)が公職を退いた後、明治25年に見付に移り住んだ際に建てられたものです。レンガと三和土(たたき)を巧みに使った壁には、明治の面影が残っています。

旧見付学校(国指定史跡)

明治8年に開校した、日本最古の木造擬洋風小学校校舎です。明治16年に2階部分を改築し、現在の形となっています。裏にある磐田文庫は、幕末に開設されたこの地域で最初の民間図書館です。神社と並び立つ姿は堂々として深い歴史を感じさせます。

桶ヶ谷沼

旧見付学校

旧赤松家

国分寺跡

磐田駅

GOAL!

木原一里塚

澤野医院記念館

袋井宿場公園

東海道どまん中茶屋

JR袋井駅

START!



磐田駅 GOAL!

START!